



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニッセンホールディングス
コード番号 8248 URL <http://www.nissen.info/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐村 信哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO兼財務本部長 (氏名) 筑紫 敏矢

TEL 075-682-2041

四半期報告書提出予定日 平成25年11月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成24年12月21日～平成25年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	145,097	22.8	△3,410	—	△2,856	—	△2,816	—
24年12月期第3四半期	118,179	17.2	△558	—	△149	—	△462	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 △2,301百万円 (—%) 24年12月期第3四半期 △523百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△46.41	—
24年12月期第3四半期	△7.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	99,833	26,448	26.5
24年12月期	105,866	29,434	27.8

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 26,434百万円 24年12月期 29,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年12月期	—	5.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年12月期の期末配当予想額については未定であります。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成24年12月21日～平成25年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,300	13.4	△2,800	—	△2,600	—	△2,700	—	△44.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	63,473,832 株	24年12月期	63,473,832 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	2,797,707 株	24年12月期	2,797,459 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	60,676,210 株	24年12月期3Q	58,851,492 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) その他の注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年12月21日～平成25年9月20日、以下「当第3四半期」）における我が国経済は、政府による経済対策や金融緩和政策を背景として円安が進行し、輸出関連企業を中心に企業収益が改善し株価が上昇、また個人消費も持ち直しの傾向にあるなど景気は緩やかに回復しつつあるものの、海外経済の下振れ懸念は依然として存在しており、先行きの不透明感が残る状況となっております。

このような経営環境のもと、当社グループでは、新たなるニッセングループ中期経営計画「Nissen Vision 50」に基づき、成長戦略の5つの柱である顧客支持ナンバーワン戦略・次世代One-to-One戦略・バリューリーダーMD戦略・オープンユーザビリティ戦略・M&A+アライアンス戦略に基づき、将来的に大きく飛躍できる企業グループを目指し鋭意取り組みを進めてまいりました。

当第3四半期では、株式会社ニッセンにおきまして、顧客支持ナンバーワンを目指しQSC(Quality商品品質、Serviceサービス品質、Clearness分かりやすさ)向上のための取り組みの一環として、インターネット注文金額3,900円以上での送料無料キャンペーン実施による配送関連サービスの強化や、お客様からご要望の多いポイント制度の実現に向けてTポイントサービスの導入準備を進めております。前期の途中で完全子会社となったシャディ株式会社におきましては、シニア向けを中心とした自己消費通販ビジネスの取り組みの拡大や、シャディ販売店におけるニッセン商材の店舗販売、ニッセンノウハウを活用した健康食品販売の導入等、引き続き株式会社ニッセンとのシナジー拡大に向けて邁進してまいります。今後につきましても、中期経営計画を達成するために成長戦略5つの柱に沿った様々な取り組みを展開し、常にお客様の立場に立ち、個々のお客様にとってのベストセクションを最適な環境で提供して“ちょっといいな”をお届けしてまいります。

当社グループの主力事業であるコマース事業におきましては、株式会社ニッセンにおいて、2013年の重点課題であるQSC向上を継続し受注取消や廃番、返品等が減少して受注比売上率が改善する中、下期よりプロモーションコストを投下して新規顧客の獲得や既存顧客の稼働を促す等売上回復を図っているものの、これまでの稼働客数減少の影響が大きく減収となりました。一方で、前期においては第3四半期から連結対象となったシャディ関連連結3社（シャディ株式会社及び同社の100%子会社である株式会社エニシル、スリーハート・コーポレーション株式会社、以下「シャディ関連連結3社」。）の売上が当第3四半期においては期初から連結していること等により、コマース事業全体としては前第3四半期連結累計期間（平成23年12月21日～平成24年9月20日、以下「前年同期」）より増収となりました。利益面につきましては、株式会社ニッセンにおいて、減収による利益の減少に加え円安による関税などの輸入関連コストや仕入コストの増加等が利益を押し下げ営業赤字となりました。シャディ関連連結3社においては、業績が回復基調にあることから下期は黒字を達成しているものの、売上が低調な季節であるため上期の損失をカバーし切れず営業赤字となり、セグメント損益は前年同期の実績を下回りました。

ファイナンス事業におきましては、連結子会社である株式会社ニッセンライフにおいて、対面希望者に対する訪問コンサルティングの強化をはじめ、持病のある方でも申し込みができる保険商品をインターネットで容易に検索できるシステム「持病があっても安心ナビ」のリリースなどにより新規顧客獲得は順調に推移しており、包括移転した旧共済契約ポートフォリオからの収入が未計上のため売上高、営業利益とも前年同期の実績を下回ったものの黒字化を達成しております。また、持分法適用関連会社のニッセン・ジー・イー・クレジット株式会社においては、貸倒償却額の減少や販管費の削減により収益体質は改善しつつあるものの、過払返還請求引当金の取り崩し額が昨年よりも少なかったこと等により持分法による投資利益は前年同期の実績を下回り、ファイナンス事業のセグメント利益は前年同期の実績を下回りました。

その他事業におきましては、平成24年7月に株式会社ニッセンシェイプファндеの全株式を売却し、同社が連結対象外になったこと等により売上高は前年同期の実績を下回りましたが、宝飾事業の連結対象会社2社の業績が順調に推移したため、セグメント損益は前年同期の実績を上回りました。

その他全社関連としましては、資産の効率化及び財務体質の健全化を目的として投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益886百万円を特別利益として計上した一方で、当社の主力事業会社である株式会社ニッセンの業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、第2四半期において繰延税金資産588百万円の全部を取崩し、法人税等調整額を税金費用として計上しております。

以上の結果、当第3四半期における連結業績は、売上高145,097百万円（対前年同期増減率22.8%増 26,918百万円増加）、営業損失3,410百万円（前年同期四半期営業損失558百万円）、経常損失2,856百万円（前年同期四半期経常損失149百万円）、四半期純損失2,816百万円（前年同期四半期純損失462百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比6,032百万円減少し、99,833百万円となりました。これは主に現金及び預金、有形固定資産の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比3,046百万円減少し、73,385百万円となりました。これは主にリース債務の増加に対し、短期借入金、未払金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比2,986百万円減少し、26,448百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加に対し、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年7月5日付「第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正、投資有価証券売却益（特別利益）の計上及び繰延税金資産の取崩し、配当予想の修正並びに役員報酬減額に関するお知らせ」で発表した数値から変更はございません。業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績につきましては、当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートの変動などの様々な要因により本資料発表日現在の見通しとは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,176	2,467
受取手形及び売掛金	17,268	18,010
たな卸資産	20,163	20,986
前払費用	7,081	6,826
未収入金	9,158	8,142
為替予約	427	580
その他	1,695	1,431
貸倒引当金	△562	△518
流動資産合計	62,407	57,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,448	13,760
その他(純額)	11,240	10,831
有形固定資産合計	25,689	24,591
無形固定資産		
のれん	805	732
その他	8,634	7,790
無形固定資産合計	9,439	8,523
投資その他の資産		
投資有価証券	6,521	6,894
その他	2,698	2,725
貸倒引当金	△890	△827
投資その他の資産合計	8,329	8,792
固定資産合計	43,458	41,907
資産合計	105,866	99,833
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,101	30,761
短期借入金	10,456	5,489
未払金	7,526	6,516
未払法人税等	277	264
返品調整引当金	193	166
返品破損引当金	34	26
事業整理損失引当金	69	69
その他	6,644	7,306
流動負債合計	56,303	50,600
固定負債		
長期借入金	13,539	13,521
リース債務	3,493	6,122
退職給付引当金	1,541	1,606
その他の引当金	19	4
資産除去債務	293	284
その他	1,241	1,244
固定負債合計	20,128	22,784
負債合計	76,431	73,385

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,218	11,218
資本剰余金	11,240	11,240
利益剰余金	7,613	4,130
自己株式	△922	△922
株主資本合計	29,149	25,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	417
繰延ヘッジ損益	258	351
その他の包括利益累計額合計	254	768
新株予約権	30	13
純資産合計	29,434	26,448
負債純資産合計	105,866	99,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月21日 至平成24年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年9月20日)
売上高	118,179	145,097
売上原価	62,035	89,514
売上総利益	56,143	55,583
返品調整引当金繰入額	229	169
返品調整引当金戻入額	249	172
差引売上総利益	56,163	55,586
販売費及び一般管理費	* 56,722	* 58,997
営業損失(△)	△558	△3,410
営業外収益		
受取利息	13	5
受取配当金	27	107
受取手数料	51	50
持分法による投資利益	463	344
雑収入	176	373
営業外収益合計	731	881
営業外費用		
支払利息	227	243
雑損失	94	84
営業外費用合計	322	327
経常損失(△)	△149	△2,856
特別利益		
固定資産売却益	—	4
投資有価証券売却益	56	886
新株予約権戻入益	0	34
負ののれん発生益	216	—
資産除去債務戻入益	—	7
特別利益合計	273	932
特別損失		
固定資産除売却損	18	134
減損損失	—	1
投資有価証券評価損	119	36
事業撤退損	84	—
リース解約損	—	1
特別損失合計	222	173
税金等調整前四半期純損失(△)	△98	△2,098
法人税、住民税及び事業税	212	413
法人税等調整額	151	304
法人税等合計	364	717
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△462	△2,816
四半期純損失(△)	△462	△2,816

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月21日 至平成24年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△462	△2,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	421
繰延ヘッジ損益	△113	92
その他の包括利益合計	△60	514
四半期包括利益	△523	△2,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△523	△2,301
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年12月21日 至 平成24年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コマース事業	ファイナンス 事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	113,302	1,447	3,429	118,179	—	118,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	145	—	3	149	△149	—
計	113,448	1,447	3,433	118,328	△149	118,179
セグメント利益又は損失(△)	△328	699	△0	370	△519	△149

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△519百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△519百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、シャディ株式会社の発行済株式全てを取得し、同社及び同社の子会社2社を連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「コマース事業」において、33,008百万円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、「通販事業」、「金融事業」、「現販事業」を報告セグメントとしておりましたが、第2四半期連結会計期間より、「コマース事業」、「ファイナンス事業」、「その他事業」に変更しております。

この変更は、平成24年3月30日にシャディ株式会社の発行済株式全てを取得し、同社及び同社の子会社2社を連結の範囲に含めたことで、当社グループに新たな事業が加わったため、報告セグメントの見直しを行ったものであります。

「コマース事業」は、従来の「通販事業」にシャディ株式会社及び同社の子会社2社を加え、カタログ媒体やオンラインショップを通じ、主に衣料品・生活関連用品の通信販売事業及び店舗や各種メディア（カタログ、インターネット、モバイル等）を組み合わせた「有店舗メディアミックス型ビジネスモデル」でギフト用品の販売、卸売等を行っております。

また、従来の「金融事業」については「ファイナンス事業」へ、「現販事業」については「その他事業」へ変更しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「コマース事業」セグメントにおいて、シャディ株式会社の発行済株式全てを取得し、同社及び同社の子会社2社を連結子会社といたしました。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては216百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月21日 至 平成25年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コマース事業	ファイナンス 事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	140,959	1,240	2,897	145,097	—	145,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	97	—	13	110	△110	—
計	141,057	1,240	2,910	145,208	△110	145,097
セグメント利益又は損失(△)	△2,989	503	25	△2,461	△395	△2,856

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△395百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△395百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月21日 至 平成24年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月21日 至 平成25年9月20日)
広告宣伝費	17,643百万円	14,363百万円
運賃及び荷造費	9,492百万円	11,117百万円
給料	8,579百万円	9,912百万円
販売促進費	5,765百万円	5,889百万円
支払手数料	4,202百万円	4,553百万円
貸倒引当金繰入額	270百万円	249百万円
退職給付費用	135百万円	217百万円